

第170号
平成23年

2月23日

すまいるたうん



発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL 5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL 090-2657-0300

なごみ創作人形の会

岩野ノブさん

「惹かれました」

20年前、岩野さんは、友人の自転車の前カゴにあった和紙人形との出会いで感動し、人形創作を始めました。

「書いて見て聞いて聞いて覚える世界」

指導を受けて人形作りの基礎を学び、仕事の合間に創作した人形は数え切れない程です。

岩野さんの和紙人形は、まず先に人形の頭の針金の部分に脱脂綿を薄く少しづつ伸ばして、くるくると巻き付けて固めます。胴体手足は、白のひら和紙で肉付けして、その後に肌色の和紙を貼り、襦袢を着せます。着

物も上身ごろ下身ごろえお作り、肩上げしたり、腰上げして見えない部分もきちんと製作されます。袖も4枚紙を使って、子供のぞうりも一つ一つ丁寧に手仕上げで行い、履かせておられます。また、手

まりのまり、横で見ている犬も全て和紙



で製作されています。細かな所まで、本物と同じに作られるので、一作品が仕上がるのに4日から1週間はかかります。

「心の目で見ると表情が出てくる」

和紙は洋紙に比べて格段に繊維が長い為、薄くても強靱で寿命が比較的長く、独特の風合いを持つているので、温かみを感じられます。目鼻のない顔から、表情が浮き上がって読み取ることが出来ます。

「仕草一つで雰囲気が変わります」

人形の肩を落したり、足をあげたり、首を傾げたりすることで子供がお兄さんに見えたり、幼子に見えたり、また花魁が堂々とした中で色気を感じたりと歌舞伎役者が人形になった感じがします。



「レシピのない世界です」

仕草一つ、着せる物一つで変わる人形達

それぞれの題材に合った紙選びから、考えとキリのない世界です。悲しい事や悩みごとがあつて、壁にあたつてスランプに落ちたこともありましたが、「ペーパーフラワードール」の本に紹介されたことで、自分が人の役に立てるんだと勇気付けられました。

「昔話を作ってみようと思っていま

す」

今は、忘れ去られた手まりやかごめかごめ等昔の子供の遊びを再現されています。

楽しげな人

形達の歓声

が聞こえ、

今にも動き

出しそうな

感じです。

和んで、穏

やかな気持

ちを呼び起

こしてくれ

る作品です。

岩野さん

は第2、第

4土曜日の午後1時〜4時まで、汐入消防

署の前の団地の集

会室で、教室を開

かれております。

ご連絡して、

なごみの人形達に

会って来ませんか。

忘れていた暖か

さ、懐かしさで笑



なごみ創作人形の会
南千住8-3-1-403
TEL&Fax 3805-2319
代表 岩野ノブさん